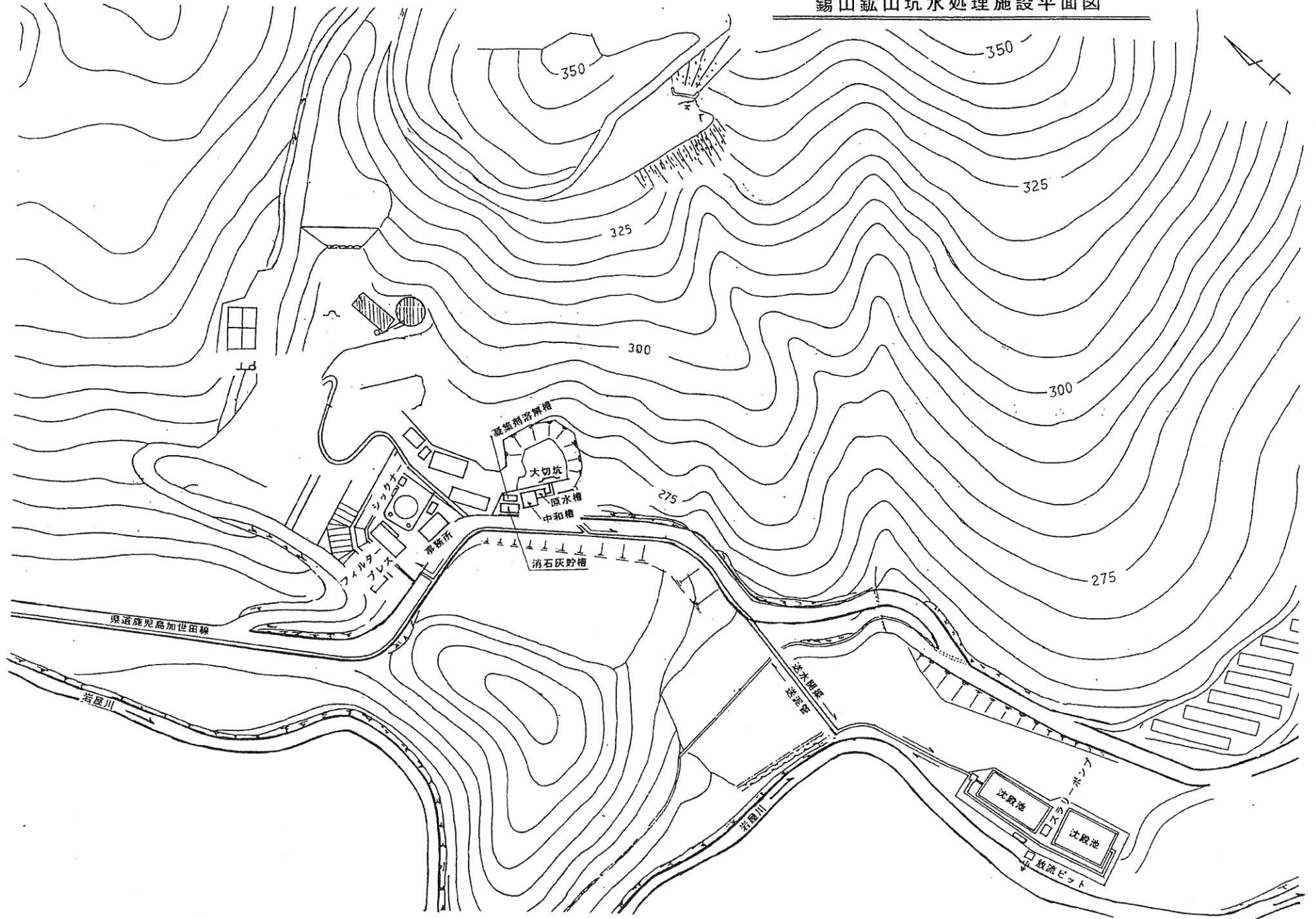
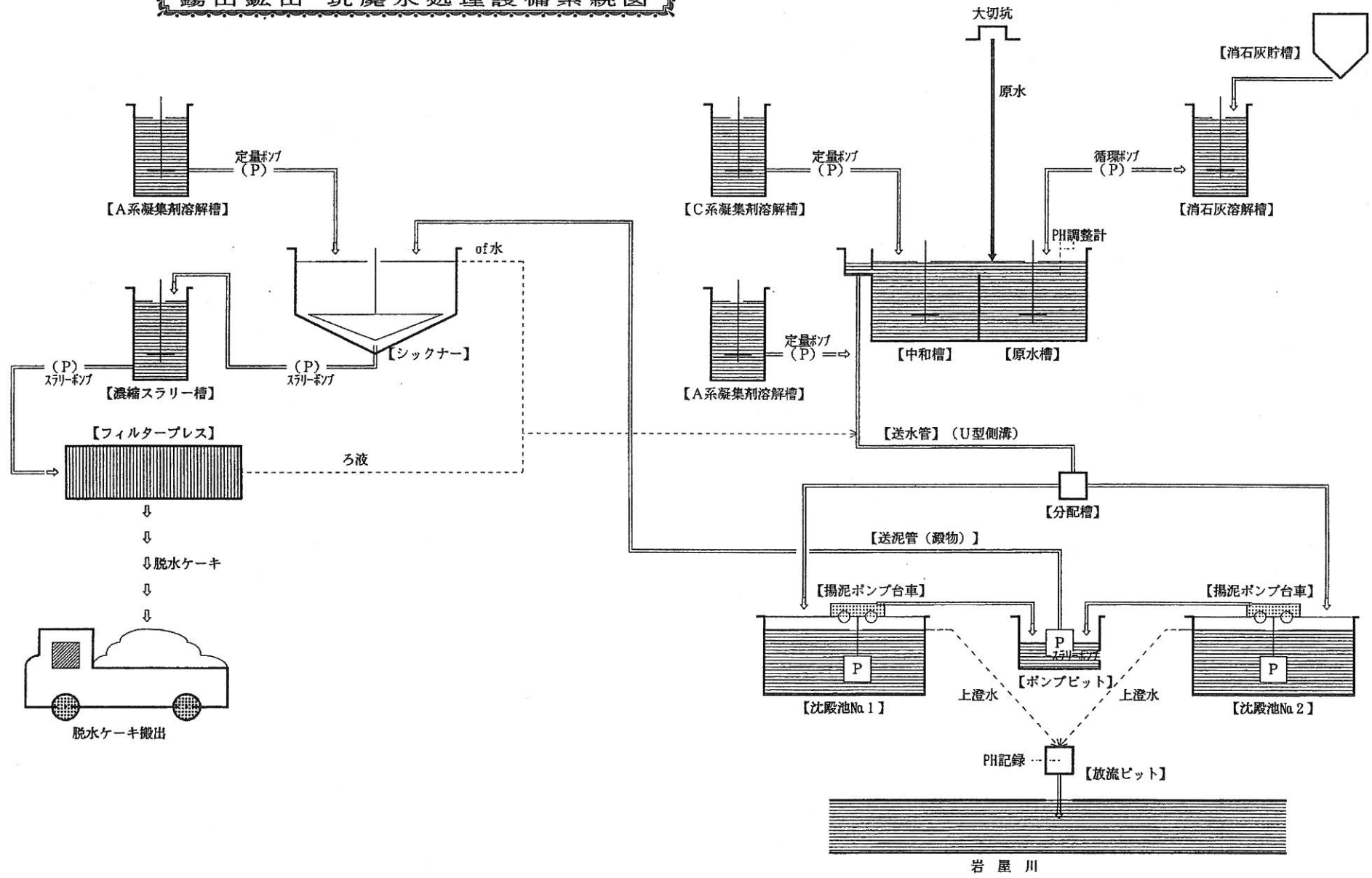


錫山鉞山坑水処理施設平面図



錫山鉾山 坑廢水處理設備系統圖



錫山鉱山 坑水処理施設 処理系統図

※金属鉱業事業団による調査設計

【Aゾーン】

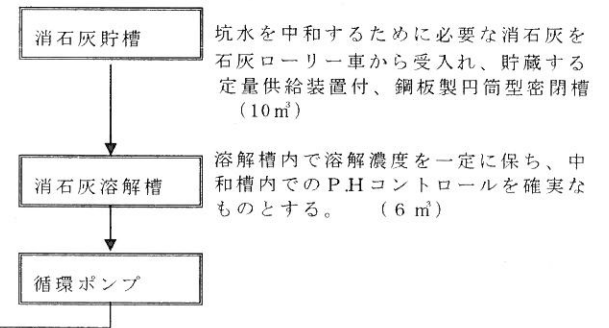
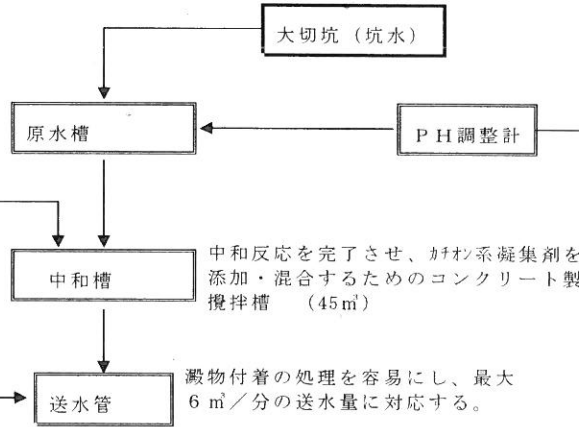
坑水を最初に受入れ、消石灰を添加・混合するコンクリート製攪拌槽（15m<sup>3</sup>）。滞留時間を充分に取り、中和反応を槽内で確実にいき、PH値を安定させる。

カチオン(C)系凝集剤溶解槽

中和槽で凝集に必要な凝集剤（粉末）を必要な濃度に自動溶解し、連続添加する。両槽共に自動溶解装置付（C系・A系共に1.5m<sup>3</sup>）

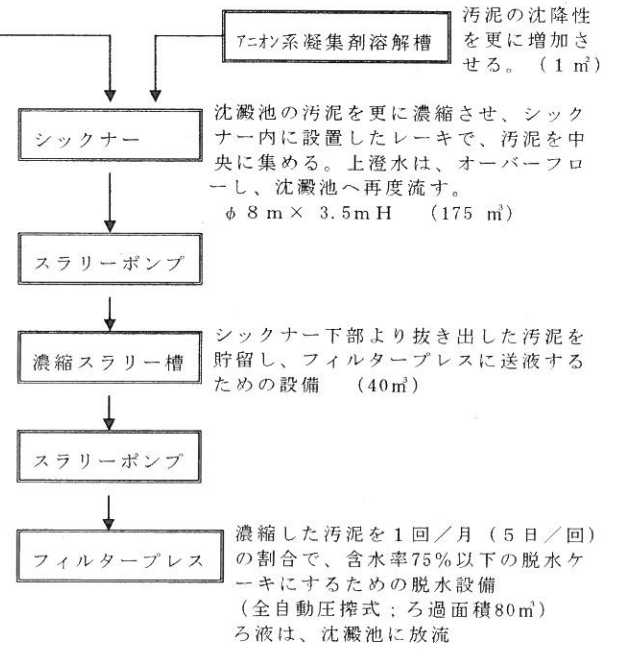
アニオン(A)系凝集剤溶解槽

※澱物沈降試験により、カチオン系とアニオン系の併用が沈降速度、上澄水の向上に効果があることが示された。

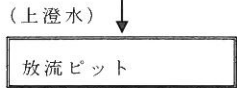
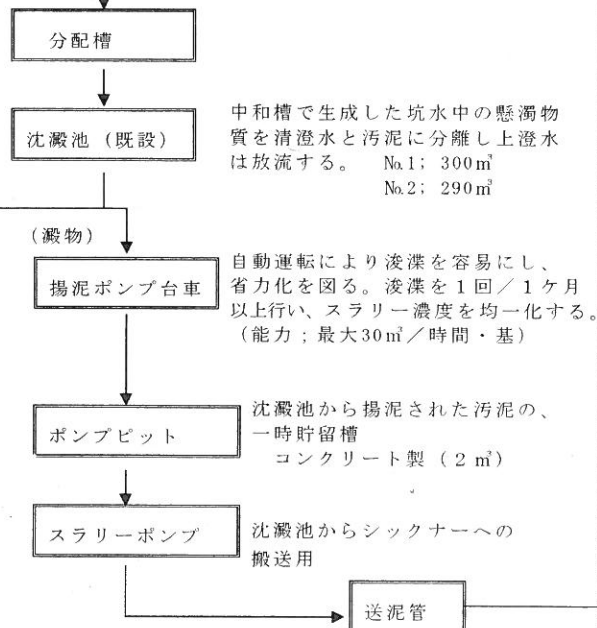


【Cゾーン】

※管理棟 36.45m<sup>2</sup>（平屋建て）  
脱水機上屋 55.00m<sup>2</sup>（鉄骨2階建て）  
受電設備 受電電圧：6,600V



【Bゾーン】



放 流

中和槽で生成した坑水中の懸濁物質を清澄水と汚泥に分離し上澄水は放流する。 No.1: 300m<sup>3</sup>  
No.2: 290m<sup>3</sup>

自動運転により浚渫を容易にし、省力化を図る。浚渫を1回/1ヶ月以上行い、スラリー濃度を均一化する。（能力：最大30m<sup>3</sup>/時間・基）

沈澱池から揚泥された汚泥の、一時貯留槽  
コンクリート製（2m<sup>3</sup>）

沈澱池からシクナーへの搬送用

坑水を中和するために必要な消石灰を石灰ローリー車から受入れ、貯蔵する定量供給装置付、鋼板製円筒型密閉槽（10m<sup>3</sup>）

溶解槽内で溶解濃度を一定に保ち、中和槽内でのPHコントロールを確実なものとする。（6m<sup>3</sup>）

7-オキシ系凝集剤溶解槽  
汚泥の沈降性を更に増加させる。（1m<sup>3</sup>）

シクナー  
沈澱池の汚泥を更に濃縮させ、シクナー内に設置したレーキで、汚泥を中央に集める。上澄水は、オーバーフローし、沈澱池へ再度流す。  
φ8m×3.5mH（175m<sup>3</sup>）

濃縮スラリー槽  
シクナー下部より抜き出した汚泥を貯留し、フィルタープレスに送液するための設備（40m<sup>3</sup>）

フィルタープレス  
濃縮した汚泥を1回/月（5日/回）の割合で、含水率75%以下の脱水ケーキにするための脱水設備（全自動圧搾式；ろ過面積80m<sup>2</sup>）ろ液は、沈澱池に放流